

果樹カメムシ類情報第1号

令和5年4月4日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

チャバネアオカメムシの飛来数は6月末までやや少ない予想

1 令和5年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度調査結果

果樹カメムシ類の主要種であるチャバネアオカメムシ（図1）の越冬成虫密度調査を県内14地点で行った結果、平均越冬成虫密度は0.07頭/m²（過去10年の平均値0.82頭/m²）、越冬成虫の確認地点割合は14.3%（過去10年の平均値55.0%）で（表1）、いずれも過去10年と比較し9番目でやや低い状況でした。

2 令和5年の飛来数予測

過去の調査結果から、越冬成虫密度と、チャバネアオカメムシの飛来数の目安となる予察灯における5～6月までの誘殺数は関連しており、越冬成虫密度が高い年は誘殺数も多く、越冬成虫密度が低い年は誘殺数も少なくなる傾向があります（図2）。

今冬のチャバネアオカメムシの越冬成虫密度、越冬成虫の確認地点割合はいずれもやや低い状況でした。また、昨年8月から10月までの豊橋市、新城市の予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺総数は平年並でした。これらのことから、チャバネアオカメムシの果樹園への飛来数は6月末までやや少ないと予測します。

ほ場での発生状況や5月から始まる果樹カメムシ類の予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数などを参考にして、防除を実施しましょう。



図1 チャバネアオカメムシ成虫

表1 令和5年のチャバネアオカメムシ越冬成虫密度（頭/m²）

調査年	調査地点														全地点の平均	越冬確認地点割合
	幸田町		新城市				豊橋市				豊川市					
	須美北山北	須美北山東	大海	市川	小畑	稲木	嵩山	石巻萩平	石巻平野	小野田	平尾	千両	足山田	金沢		
令和5年	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.07	14.3%
平年	0.6	0.3	2.2	1.4	2.0	0.4	0.6	0.5	0.8	0.3	0.3	0.4	1.0	0.8	0.82	55.0%

平年：平成25年から令和4年までの過去10年の平均値。

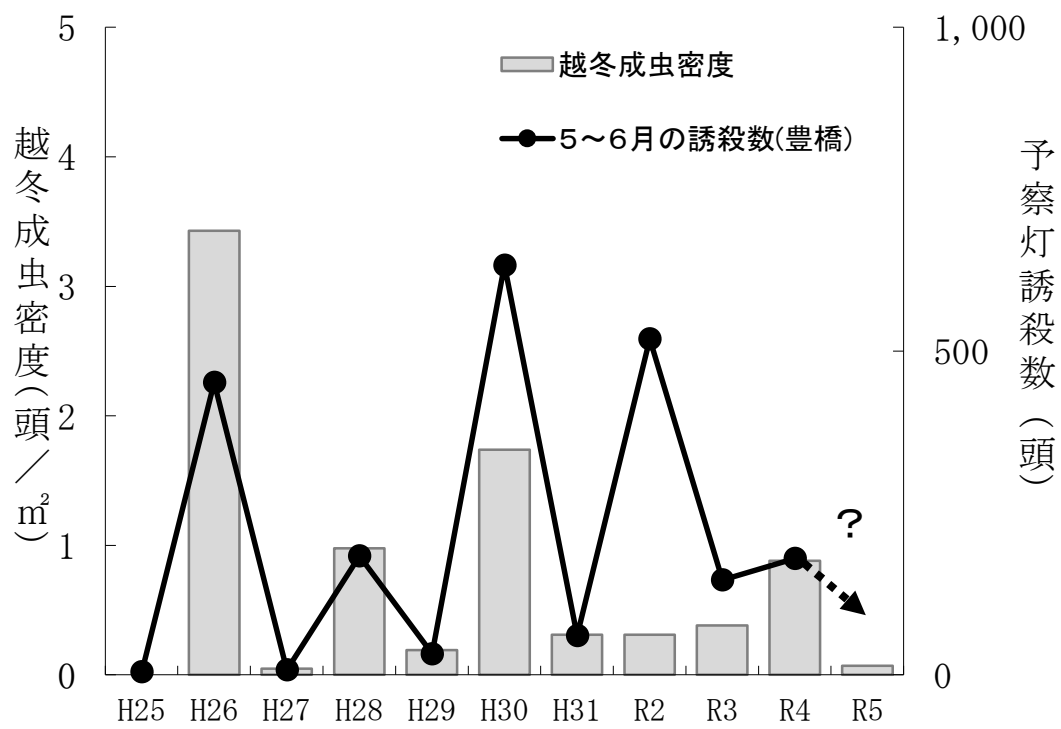


図2 チャバネアオカメムシの平均越冬成虫密度と予察灯における越冬成虫誘殺数（豊橋市）